

# 事後評価シート

【評価年月】 平成17年 4月  
 【主管課・室】 自然環境局自然環境計画課  
 【評価責任者】 自然環境計画課長 黒田 大三郎

## 施策名、施策の概要及び予算額

施策名	- 8 - (3) 自然環境の再生
施策の概要	自然と共生する社会を実現するために、優れた自然を保全することに加え、失われた自然環境の再生を積極的に推進することが必要である。このため、関係省庁と連携し、関係自治体、専門家、NPO、地域住民等の参画を得て、失われた自然を再生する事業を実施する。
予算額	1,264,562 千円

## 目標・指標、及び目標の達成状況

目標	生物多様性保全の観点から望ましい自然環境を積極的に確保するため、関係省庁と連携し、関係自治体や専門家、NPO等の参画を得て、失われた自然を積極的に再生する。				
参考指標	環境省の事業		H16年度	目標値	H - 年度
	実施地区数 (地区)		21		-
	環境省直轄又は補助金により、自然再生事業(調査を含む)を全国21カ所で実施。 自然再生推進法の運用を推進することにより、全国で同法に基づく自然再生協議会が、新たに平成16年度は9カ所で設置された。				

## 評価、及び今後の課題

評価	【必要性】(公益性、官民の役割分担等) かつて身近であったメダカまでが絶滅危惧種となるなど、我が国の生態系は衰弱しつつあり、残された生態系の保全を強化することだけでなく、過去に失われた自然を、多様な主体の参画によって積極的に再生・修復していくことが必要不可欠である。
----	--

	<p>平成15年 1月に施行された自然再生推進法の下で自然環境の再生を着実に推進していくために、関係省庁や専門家等と密接に連携して具体的な事業を展開するとともに、地域住民やNPO等市民の参加が確保されるよう市民活動を支援することが必要である。</p> <p>【有効性】(達成された効果等)</p> <p>自然再生にかかる調査の実施は、生物多様性の観点から自然再生事業を効果的かつ効率的に実施するためのモニタリングの基礎となるデータの収集等の点で、有効に機能している。</p> <p>計画段階から専門家、地元の市民等の参画を得た自然再生事業の実施により、地域の自然特性に応じたきめ細やかな取組を、合意を得つつ推進することが可能となっている。</p> <p>自然再生事業実施区域は、自然環境学習の場として、将来にわたって市民等に活用される。</p> <p>自然再生推進法の運用を推進することにより、全国で法に基づく自然再生協議会が、平成16年度9箇所(計13箇所)立ち上がっている。</p> <p>【効率性】(効果とコストとの関係に関する分析等)</p> <p>自然再生事業については、基礎調査や計画段階から様々な主体の参画を得て地元との合意形成を図りながら実施しており、事業の目的である様々な主体との連携の下、効率的に事業を推進することができる。</p> <p>自然再生推進法の運用により、民間が主体となった自然再生を推進することができる。</p> <p>&lt;目標に対する総合的な評価&gt;</p> <p>自然再生推進法の運用と自然再生事業の実施により、自然環境の再生が図られ、政府が取り組むべき重要課題である「自然と共生する社会の実現」が着実に推進されているが、今後も一層の施策の充実が必要である。</p>
今後の課題	地域の多様な主体の連携による自然再生事業の着実な実施、自然再生に参加するNPO等の支援策や実施体制の一層の充実が必要である。

### 政策への反映の方向性

反映方向分類	理由の説明
2	平成13年度に決定した新・生物多様性国家戦略、平成14年度に施行された自然再生推進法を踏まえて、本施策を着実に展開していく必要がある。

#### 特記事項

目標値等の設定が可能かどうかの検討を行った結果、参考指標として示すことのできる自然再生事業実施地区数を示すこととした。

【別紙】

事務事業シート

施策名	- 8 - ( 3 ) 自然環境の再生	
施策共通の主な政策手段等	自然再生事業関係費 ( 1,214百万円 ) ( 自然公園等事業費 13,250百万円のうち )	
事務事業名 ( 関連下位目標番号 )	事業の概要	主な政策手段等
自然再生事業の実施	・ 生物多様性保全の観点から望ましい自然環境を確保するため、関係省庁と連携し、関係自治体や専門家、NPO等の参画を得つつ、失われた自然を積極的に再生。	・ 自然再生事業関係費 ( 1,214百万円 ) ( 自然公園等事業費 13,250百万円のうち ) ・ 自然再生活動推進費 (51百万円) ・ 自然再生推進法 ・ 新・生物多様性国家戦略

**【別紙】 政策効果把握の手法及び関連指標**

(施策名) -8-(3) 自然環境の再生 (目標)	単位	現況値 (時点)	目標値 (目標年次)
(参考指標名) 環境省の事業実施地区数	地区	21 (H16年度)	- ( - )
指標の解説(指標の算定方法) 環境省直轄で、あるいは環境省の補助事業で実施された自然再生事業、自然再生推進調査の地区数			
評価に用いた資料(インターネットの公開・非公開の別) -	特記事項(外部要因の影響など) -		
目標値設定の根拠 -			